記者発表資料

平成２２年４月２３日
東北地方整備局
鳴子ダム管理所

５月２日～５日の４日間

鳴子ダムで「すだれ放流」

～幅９５ｍ、高さ約８０ｍの巨大な滝が出現～

鳴子ダムでは、ＧＷ期間中の５月２日から５月５日の４日間に、ダムの上部から水が流れ落ちます。幅９５ｍ、高さ約８０ｍにわたり大きな滝のように流れ落ちる放水は、非常に迫力があります。

鳴子ダムでは、毎年５月の連休時に、ダムの上部（堤頂越流部）から水が流れ落ちます。（通称「すだれ放流」と呼ばれています）これは、かんがい用水等の確保のため、春の雪解け水で貯水池が満杯となり、ダム上部から水が流れ落ちるものです。

「すだれ放流」は、鳴子ダムが管理を始めた昭和３３年から、ほぼ毎年行われてきています。

今年は、ゴールデンウィーク期間中の５月２日（日）～５日（水）の４日間**「すだれ放流」**を実施する予定です。なお、例年ダム下流に設置している「鯉のぼり」は、今年は４月３０日から　５月５日まで、大崎市鳴子総合支所が主体となり設置する予定となっています。

この「鯉のぼり」は、すだれ放流によって出来た「滝」を登るように見えることから、「鯉の滝登り」として地域の方や観光客の方からも広く親しまれています。（別紙参照）

今年も是非、鳴子ダムへお越しください。

ただし、ダム上流の江合川の水が少なく貯水池が満杯にならない場合や洪水等が予想される場合には、「すだれ放流」とならない場合があります。

また、「すだれ放流」の様子は、鳴子ダムホームページ「鳴子ダムライブ映像」でもリアルタイムで見ることが出来ますので、是非ご覧ください。

《 鳴子ダムホームページhttp://www.thr.mlit.go.jp/naruko/ 》

【発表記者会】
古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　鳴子ダム管理所
所　　長　柏谷　稔
管理係長　木村　康文
〒９８９－６８０６　宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕２－８
TEL 0229-82-2341　FAX 0229-83-3855

【別紙】

（Ｈ２１年度のすだれ放流の様子）



（Ｈ２１年度すだれ放流見学の様子）



